

「手賀沼 魚類・貝類調査」

手賀沼水生生物研究会 矢竹一穂

2022年9月10日(土) 8:00~15:00 参加11名 天気:晴れ

調査はモンドリによる定量調査とガサガサ(一部目視含む)による定性調査を並行して行った。



場所	親水広場栈橋	根戸新田	沼南園西側	見晴らし台	FC栈橋	片山新田	野球場前	岩井新田
緯度	35.861725	35.866611	35.859058	35.857133	35.851033	35.850197	35.853111	35.85749
経度	140.02705	140.00145	140.020239	140.042958	140.064867	140.064881	140.063475	140.03795
時間	8:05~8:35	9:15~9:45	10:10~10:40	11:00~11:30	12:00~13:00	13:08~13:38	13:45~14:15	14:30~15:00
底質	砂=泥	砂>泥	砂=泥	砂>泥	砂=泥	砂>泥	砂<泥	砂>泥
モンドリ数	6	6	0	6	6	6	0	0
モツゴ	109	158		15	61	114		
タイリクバラタナゴ								
タイリクバラタナゴ稚魚	4	63		5	10	19		
ヨシノボリ								
ヌマチチブ								
スジエビ	73	18		15	15	35		
テナガエビ	1	1						
トンボヤゴ						1		
ガサガサ								
モツゴ		○	○	○		○	○	○
タイリクバラタナゴ								
タイリクバラタナゴ稚魚		○	○	○				○
ヨシノボリ		○	○	○				○
ヌマチチブ		○				○		
スジエビ		○多	○	○		○	○	○
テナガエビ		○	○	○				○
シナヌマエビ		○						
モロコ			○	○				
ボラ				○目視			○目視多数	
ゲンゴロウブナ								大1
貝類								
ドブガイ生体		1	1	9 幼貝:1含む		○		
ドブガイ貝殻		3	2					
イシガイ貝殻								
カラスガイ貝殻								
特定外来生物(水生植物)								
ナガエツルノゲイトウ	○	○	○	○	○	○	○	○
オオバナキンバイ	○	○	○	○	○	○	○	○

- ・魚類：モツゴが最も多く、次いでスジエビ、タイリクバラタナゴが確認できた。
ボラが野球場前で多数目視された。
- ・貝類は昨年に比べ少なかった。
- ・特定外来生物ナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイの2種は全ての地点で確認され、繁茂していた。